

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第129号(2014.12.04 発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【CP 通信過去履歴閲覧サイト】:http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html

【お知らせ】

3 学期のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の受講生募集中!

お申込締切は 12 月 18 日木曜日で、開講決定日は 12 月 19 日ですので、お早目にお申込みください。



【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 教養教育部
教授 餅川 正雄
- ・3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義のご紹介
『イスラム経済とイスラム金融』
『日本の財政破綻と金融政策』
- ・3 学期カルチャー講座(CS)
『コンピュータシミュレーションの世界』のご紹介
- ・3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)のラインナップ
- ・経大見聞録
- ・ネパール騒動記 『ネパールからナマステ』 Packer Taka

・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 教養教育部

教授 餅川 正雄

2 学期 CP 講師『実務に役立つ経理入門』

3 学期 CP 講師『所得税法入門』

学習の適時性と意欲について

本学のCPでは「実務に役立つ経理入門」という講座を担当させてもらっている。ここでは簿記の学習に関して、日頃考えていることを少し紹介したいと思う。

「簿記学習についての“適時性”というものはあるのだろうか？」この問いは、筆者が高等学校から大学に移ってきて、特に関心がある問題の一つである。筆者は、公立の商業高等学校で長年「簿記」、「財務会計」、「原価計算」、「税務会計」などの科目を中心に教えてきた。簿記の導入では、「分かる!」、「できる!」という実感をもたせることの重要性を意識しながら分かり易い言葉で丁寧に指導してきた。いつの間にか周囲から「簿記の先生」として認知されていった。因みに、教えた生徒の中には、公認会計士や税理士になっている卒業生もいる。このことから高校生に簿記学習の適時性はあると言えよう。

その後、大学に移ってからも引き続き会計分野の科目を担当させて頂いている。高等学校と大学での指導内容はほとんど同じであっても、教える相手の年齢が違っている。そもそも“適時性”というのはいくつだろうか？適時とは、ある特定分野の学習内容を習得するためのレディネス(準備態)が出来上がっている時期を指すのであろう。簿記に関する知識が白紙の状態から出発する点では、高校生も大学生も同じであることは間違いない。レディネスとしては、ある程度『企業の経済活動に関心を持ち、商品売買や製品の製造などのビジネスの基礎が理解できていて、電卓での加減算ができるようになっている』という状態である。この位のレディネスは経済学部学生のほとんどは備わっている。問題は学習意欲である。つまり、「簿記をマスターしたい!」という強い思いの方がもっと重要である。そうでないと、途中で勉強が継続できなくなる恐れがあるからである。高校生場合、その多くは「簿記検定〇級に合格したい!」という願望をもっている。それは、先生から就職や進学の際に有利に働くことを知らされているからである。

話しは変わるが、筆者の大先輩であるK先生(元校長)は、若い頃、30歳代で、独学によって税理士試験(5科目)に合格された。退職後、ある大学の准教授・教授を歴任し、地元で税理士事務所を開業されている。「なぜ、税理士試験にチャレンジされたのか?」と伺ったことがあるが、その動機は、「通信制の大学で教員免許を取得していたが、高校では簿記の授業を担当させてもらえなかった」からである。この悔しい思いをバネに猛勉強をしたと話された。尊敬するK先生は「難関突破のためには、モチベーションが最も大事ですね」と言われた。絶対に税理士試験に合格して商業科の教員として認めてもらう必要があったのである。

筆者が簿記を学んでいた時、先生は「簿記は仕訳に始まり、仕訳に終わる」と話された。簿記の学習は、取引を借方と貸方の二面から記録する仕訳(しわけ)から始まる訳である。簿記を学びたいと思っている時が、“旬(しゅん)”である。「なぜ簿記を学びたいと思ったのか?」という真の動機が何かを明確にしておく方がよい。教える側から言えば、簿記の

学びを通して世の中のことをもっと深く理解したいと思っているのが望ましいと思う。

現在、高校生と同じように大学生に対しても日商簿記 2 級のレベルの指導をしているのであるが、出来事(簿記では“取引”という)を仕訳の形に加工して帳簿に記録していくということを「面白い！」と感じてくれれば、簿記の山門をくぐったことになる。

それでは“本山”は何か？それは「決算」である。「決算の本質は何か？」ということをも最初に説明する。そして、棚卸表の作成や決算整理(仕訳)を指導して、総勘定元帳を締め切る“帳簿決算”入る。この帳簿決算に関する指導をする際に、高等学校では必ず“英米式決算法”を指導することになっている。もう一つの方法として“大陸式決算法”と呼ばれているものが存在するが、教科書にないのでそれは伏せたままである。大学では、この大陸式決算法を指導している。それは大陸式が理論的で説明がし易いという理由がある。英米式の方は、大陸式の後で教えるようにしている。大学では、二つの決算法を指導することになる訳である。学生が混乱するだろうと思っていたが、意外にすんなりと理解してくれて、大陸式と英米式の相違点分かるようになる。この大陸式と英米式の指導の最後に「理論を大事にする大陸式がよいのか、実務を大事にする英米式がよいのか？」という発問をする。(現実には、我が国の実務で英米式が採用されている。)

決算法に限らず、経理実務の世界では必ずしも処理方法が一つという訳ではない。実務では複数の処理方法の中から、最も適切だと考える方法を採用する。多くの場合、「実務では無駄な事をしない」とい実務の大原則が働いて、簡単な処理方法を採用することになる。(処理方法というのは仕訳である。)決算も最終的に仕訳が重要であるため、「仕訳に終わる」というのは正しいと言える。世の中の複雑な出来事を簿記の眼で見ようとすると、「原因と結果の二面的な把握」ということになり、常に原因と結果という二つの見方ができるようになる。簿記の勉強は、物事を理論的に考察する訓練をしているのだと考えれば、分かり易いだろう。

■3 学期キャリアアップ・プログラム(CP) 講義のご紹介

今回は 3 学期の金曜日『イスラム経済とイスラム金融』と『日本の財政破綻と金融政策』の授業計画(シラバス)をご紹介します。

【講義日】平成 27 年 1/16,1/30, 2/6,2/13,2/20, 2/27

毎週金曜日 計 6 回講義 受講料 1 科目目 12,000 円(複数受講者割引有)

【お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html#>

科目名	イスラム経済とイスラム金融 ステップアップ(応用)科目
講義日と受講料	平成 27 年 1 月 16 日、30 日、2 月 6 日、13 日、20 日、27 日 毎週金曜日 計 6 回講義
担当者	糠谷英輝 (経営学科 教授)
副題	イスラムの世界を経済や金融から知ってみたいあなたのために
対象者	世界最大のイスラム人口はアジア地域にいます。日本はエネルギーをはじめイスラムの国々との強い経済関係があります。経済、金融の側面からイスラムを知り、拡大するイスラム世界とのビジネスを考えたいという方々を対象とします。
到達目標	イスラムに関する基本的な知識を得、そこからイスラム経済やイスラム金融を考え、今、日本も含めた世界でイスラムがどのように広がりつつあるのかを知ることを目標にします。

【ご参考に受講者の声】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/voice2013.html#3term>

概要	ムスリム(イスラム教徒)の人口は増加を続け、イスラムの国々の経済も成長が加速しています。欧米の非イスラム各国の金融機関や企業は、イスラム圏でのビジネスに積極的に取り組んでいます。F&Mもメガ3行は海外でイスラム金融に参入しており、また企業も、中小企業を含めて、イスラムに対応した産業を開始しています。イスラム圏からの観光客に対応した動きも出てきています。こうしたイスラム関連ビジネスでは基本的なイスラムに関する知識が必要になってきます。本講座ではイスラム・ビジネスを考えていく上で必要なイスラム経済やイスラム金融に関する基本的な考え方、世界や日本における動向を取り上げていきます。	
授業内容	第1回 1/16	経済、金融に関するイスラムの基本的な考え方
	第2回 1/30	世界におけるイスラムの広がり(人口、経済、ビジネス)
	第3回 2/6	ハラール産業
	第4回 2/13	イスラム金融(1)
	第5回 2/20	イスラム金融(2)
	第6回 2/27	日本企業のイスラム・ビジネス
授業の形式	座学	
授業の進め方	レクチャー中心に授業を行い、原則として毎回完結するテーマを積み上げていきます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	テーマは「イスラム」ですが、宗教的な話ではありません。非イスラムの一般経済や一般金融の方向性やイスラム経済や金融を見ていきます。馴染みのない分野だと思われるので、出来るだけ質問を受け付けて質問を設けます。	
講師紹介 (自己紹介)	糠谷英輝 (経済学部 経営学科 教授) 1983年慶應義塾大学法学部法律学科を卒業後、東京銀行(当時)に入行。2度のドイツ勤務に加え、国際通貨研究所で経済金融調査に従事。専門は資本市場、アジア経済、イスラム圏の経済・金融。著書は国際金融、イスラム金融等多数。日本経済新聞「十字路口」執筆メンバー。調査で訪問した国は50以上に及ぶ。2012年4月から現職。	

科目名	日本の財政破綻と金融政策 ステップアップ(応用)科目
講義日と受講料	平成27年1月16日、30日、2月6日、13日、20日、27日 毎週金曜日 計6回講義
担当者	増原義剛 (経済学科 教授)
副題	日本の財政破たん懸念、貿易・経常収支の赤字化と異次元の金融政策の行方は！
対象者	自分の年金や金融資産、そして、日本の雇用の将来に不安をお持ちの方
到達目標	財政が破綻(国債暴落)すれば何がおきるか、貿易収支など経常収支の赤字化は、日本経済に、雇用など私たちの生活にどのような影響があるかを理解する。
概要	日本の財政は、税収で半分強、借金(国債増発)で半分弱です。国と地方の累積の借金は千兆円、GDPの2倍強で先進国で最悪。消費税を8%へ引上げても「ギリシャ化」を避けるには道半ば。社会保障経費は高齢化で毎年1兆円超増加。異次元の金融緩和で抑えていますが、金利が上昇(国債価格は下落)をはじめれば利払い急増し、日本銀行、金融機関に多額の含み損が発生。財政も金融も危機に陥ります。更に、輸出産業の構造変化、エネルギー問題で貿易赤字は定着、経常収支の赤字化が懸念され、円相場の急落、輸入インフレが加速する危険。異次元の金融政策の出口は、私達の年金、金融資産そして経済、雇用はどうなるか。その「リスク」を避けるにはどうするかを考えます。
内 業	第1回 日本の財政の現状と国際比較

1/16	
第2回 1/30	財政の歳出の増加要因: 社会保障経費と国債の利払い、長期金利はどうか
第3回 2/6	社会保障と税の一体改革: 社会保障経費の削減と消費税等の増税
第4回 2/13	2%のインフレターゲットと長期金利
第5回 2/20	貿易収支の赤字の定着、経常収支の黒字はいつまで続くか
第6回 2/27	異次元の金融政策の出口は、副作用はなにか
授業の形式	座学
授業の進め方	レクチャーを中心に基本的には一話完結型で進めていきます。毎回授業の冒頭に、前回の講義内容に対する受講生の疑問や質問についてお答えする時間をもちます。そして、より理解度を深めるために必要があればディスカッションも行います。
教材費などの追加負担	教材費などの負担はありません。
受講者へのメッセージ	アベノミクスは成功するか。日本の将来に対して、皆さんは明るいと思いますか、まあまあと思いますか、衰退すると思いますか。それを決める前にまず事実はどうなっているかを知ることが必要です。
講師紹介	増原義剛（経済学部 経済学科 教授） 広島市生まれ。修道高校、東京大学法学部卒。大蔵省入省、税財政、金融経済を担当し、東海財務局長で退官。その間、横浜市財政局、在イギリス日本国大使館、環境庁に外向。その後、衆議院議員3期、総務大臣政務官、内閣府副大臣を経験。 趣味は、囲碁3段、カラオケ、山歩き（最近はやさしい気味）など。

■3 学期カルチャー講座『コンピュータシミュレーションの世界』のご紹介

【お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html#entry>

【講義日】平成 27 年 1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4

毎週水曜日 計 6 回講義 受講料 1 科目目 5,000 円

担当者名	高石 哲弥
科目名	コンピュータシミュレーションの世界
副題	コンピュータで探る素粒子・宇宙・金融・社会
全体の授業内容	コンピュータの性能は毎年向上しており、コンピュータを利用することで複雑で計算に時間がかかる現象も解析が可能となってきています。本講義では素粒子・宇宙・金融・社会の分野でコンピュータで解き明かされてきた姿を紹介します。
授業内容	テーマ:モンテカルロシミュレーション モンテカルロシミュレーションは乱数を用いた手法の総称です。コンピュータによる乱数生成や乱数を用いた数値積分法等を紹介します。
	テーマ:コンピュータで探る素粒子の世界 スーパーコンピュータによって素粒子の性質を調べる方法を紹介します。また、スーパーコンピュータとはどのようなコンピュータかについても紹介します。

第3回 2/4	テーマ:コンピュータで探る宇宙の歴史 ビッグバンで始まった宇宙がどのように進化してきたかをコンピュータで探ります。
第4回 2/18	テーマ:コンピュータによる金融市場予測 乱数を使ったモンテカルロシミュレーションによって株価の変動をシミュレーションします。そして、そのシミュレーションを利用した金融派生商品価格の計算方法を紹介します。
第5回 2/25	テーマ:磁石のモデルで株式市場をシミュレーションする 物理学では磁石のモデルとしてスピンモデルがあります。このモデルを利用した株価のバブルやバブル崩壊のシミュレーションを紹介します。
第6回 3/4	テーマ:社会のコンピュータシミュレーション コンピュータシミュレーションは科学以外の分野でも利用されています。ここでは、都市形成や地域社会の住み分け、森林火災のコンピュータシミュレーションを紹介します。
授業の進め方	スライドを利用しわかりやすく進めようと思います。
教材費などの追加負担	教材の負担はありません。
受講者へのメッセージ	コンピュータが解き明かす新たな世界を楽しみましょう。
講師紹介 (自己紹介)	1967年徳島県生まれ。広島大学大学院理学研究科修了。博士(理学)。1997年より広島経済大学勤務、現在教授。専門は計算物理学。現在の主な研究テーマは金融データ分析、スピンモデルによる金融市場解析等。大学では自然科学入門、物理の世界、宇宙の科学等を担当。

■3学期のキャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)ラインナップ

お早目にお申込みいただけますと、開講が早く決まりますので、よろしく願いいたします。

Ctrl キーを押さえながら講座名をクリックすると授業計画(シラバス)がでできます。

CP/CS	講座名	開講曜日	開講日(計6回)
CP	映画と映画祭で学ぶ プロジェクト・マネジメントの基礎	月曜日	1/19,1/26, 2/2,2/9,2/16,2/23
CP	マーケティング演習	月曜日	1/19,1/26, 2/2,2/9,2/16,2/23
CP	日常生活で役に立つ経済	火曜日	1/20,1/27, 2/3,2/10,2/17,2/24
CP	中小企業経営論の基礎	火曜日	1/20,1/27, 2/3,2/10,2/17,2/24
CP	所得税法入門	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4
CP	確率・統計の基礎	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4
CP	財務分析の基礎	木曜日	1/22,1/29, 2/5,2/12,2/19,2/26
CP	実戦ビジネス中国語会話	木曜日	1/22,1/29, 2/5,2/12,2/19,2/26
CP	イスラム経済とイスラム金融	金曜日	1/16,1/30, 2/6,2/13,2/20,2/27
CP	日本の財政破綻と金融政策	金曜日	1/16,1/30, 2/6,2/13,2/20,2/27
CS	コンピュータシミュレーションの世界	水曜日	1/21,1/28, 2/4,2/18,2/25, 3/4

お申込みの際は必ず授業計画(シラバス)をご覧ください、講義内容をご確認の上お申込みください。

■経大見聞録

本学のHPに掲載してある記事をご紹介します。生き生きとした明るい学生の表情がうかがえます。URLをクリックして、

本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒブレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【11/26】【国際交流室】2014 年度後期 異文化研修旅行実施報告

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/abroad/news/news/0000008394.html>

【11/26】地域のみなさまと本学学生による祇園学区の一斉清掃を行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008396.html>

【11/26】「第9回 祇園・興動祭 ～今こそつながれ つなごう手と手～」を開催しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008402.html>

【11/26】東北支援プロジェクトが「東北を伝える授業」を行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008403.html>

【11/27】第9回 祇園・興動祭のチャリティーマーケットで販売した商品について

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008419.html>

【11/27】興動祭実行委員会が義援金を日本赤十字社に寄付しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008420.html>

【11/28】平成 26 年度 興動館プロジェクト活動報告会のご案内

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008424.html>

【11/28】入門プロジェクト「広島地域活性化映画祭プロジェクト」の認定式を実施いたしました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008427.html>

【12/1】第三回プロジェクト研修会～明日から使える Check 編“評価・分析するチカラ”を開催いたしました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008434.html>

【12/3】平成 26 年度石田学園留学生奨学金授与式

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/abroad/news/news/0000008442.html>

■ネパール騒動記

ネパールからナマステ

Written By Packer Taka

第 9 話 ポカラからチトワン国立公園へ

今日はポカラからチトワン国立公園へ移動の日だ。チトワン国立公園はジャングルで、ワシは爬虫類がまったくダメ。ジャングルには行きたくはなかったが、ただ象の背中に乗ってみたいと言う好奇心だけでジャングルツアーを申し込んでしまったのだ。

ポカラのゲストハウス(以下“GH”)の車でツーリストバス停(バスセンター)まで送ってもらい、チトワン行きのバスを探すと何と小汚いバスがそれだった。出発して昼食時に 1 回食事休憩があり、チトワンへ着いた。チトワンへ着く前から雲行きがおかしくなり、着く前にはバケツをひっくり返したような大雨になった。乗っている小汚いバスは窓から雨漏りはするし、また大雨の降る中バス停で降ろされ、いったい何処へ行けばよいか立尽くしていると、ワシの泊まる GH のスタッフが迎えに来てくれていた。ピックアップトラックの荷台へ乗れと言われたが、その荷台の天井には簡易的にブルーシートが張ってあるだけで、トラックが走ると前方から雨がそのまま荷台に入ってきてビショ濡れになった。

GH の部屋で荷物を下ろし、昼食の用意がしてあるそうなので食堂へ行くと、ハンバーガーとフライドポテトと野菜をボイルしたサラダだった。ハンバーガーは何の肉かは分からないが、このジャングル地帯でハンバーガーを食べるとは思いも寄らなかったが、大変美味しかった。



雨が小降りになったところで、GH のスタッフから村周辺の観光に出ると言うので着いて行った。後で GH のオーナーに聞いて分かったのだが、チトワン滞在中の日程で朝昼晩の 3 度の食事、周辺の観光、象に乗りジャングル見学、丸太舟に乗り、川下りしてジャングルを歩くツアー、民族舞踊鑑賞など全部含めてビスタさんに支払った料金に含まれていた。あとはワシの生命維持ドリンク…絶対必需品のビールとミネラルウォーター代だけ清算すれば良かった。

一通り、村内を案内され現地の方の暮らしや、住居の造り等を見学して解散した。その後一人、村内周辺を歩き、食料品店を探し、ビールを調達した。しかし、メチャクチャ蒸し暑いし、持って帰る途中でビールが腐ってはいけなと心配になり、食料品店のおばちゃんに「店の前で呑んでも良いか」と聞くと OK が出たので、店の前の椅子に座り吞ませてもらった。

この村で道を歩くときには前後左右に気を付けなければならない。と言うのも象が足音も立てず(これにはびっくりした)に近づいて来て踏み殺されそうになるのだ…と言っても“象使い”は乗っているが。

日本では街を歩いている時、象が足音もなく近づいて歩行者を追い越すなんて考えもしないゾー。動物園で見る象は鎖でつながれているから、歩くとチャリチャリと音がするが、チトワンの村を闊歩している象は素足で舗装されていない道路を歩いているので足音が全くしないのだ。しかも意外に想像するより大股で歩くので早い。道を歩いている、象がワシを抜いて行くというシチュエーションは考えたこともなかったので大変ビックリした。

夕食前、GH の庭にあるベンチに座り、ボートと川を眺めていると大きさ 4~5 メートルのデコボコした丸太のような物が岸边近くに浮いていた。よく見ると川面から目玉を 2 つ出してワシを観察しているようだ。『…何じゃろか?』とジーツと見ていると、川面から出ている 2 つの目とワシの目が合った気がした。ワシは『何じゃろか?…』と考えた。突然、ワシはその 2 つの目の正体が分かり『Crocodile(ワニじゃ)! Crocodile(ワニじゃ)!』と咄嗟に英語で叫んでいた。すると GH の客とスタッフが集まってきた。するとワニはサッと姿を消したが、ワシは『今のはワニじゃったろ?』とみんなに聞くと、みんなも『あれはワニじゃったわ。』と頷いてくれた。ワニは夕食を物色していたのだろうか…ワニのいる川辺からワシの座っているベンチまで 4~5m 位だった。



川面からワシを見たワニはビールばかり呑んで、北京ダックのように程良く肥え、美味しそうに映ったのだろうか?もう少しワシがワニを発見するのが遅かったら…ワニがワシを晩飯にしていたのか! まるでこのツアーはサバイバルゲームのようだ…(汗)。

GH の庭から目の前の川にはフェンスも何もなく、幾ら自己責任と言っても大丈夫なのかと思った。しかし、考えてみると『ジャングルツアー』で象の背中に乗るためだけにチトワン国立公園まで来たのだ。決してワシはワニの餌になるために、ここまで来たのではないのだ。

部屋に戻りカーテンを開けようとする 20cm 位の大きなトカゲが出てきた。何とかトカゲを部屋のドアから出そうと思って横目で部屋のドアを見ると、ドアの下には 5cm くらい床とドアの隙間があり、もし部屋の主であるあのトカゲを追い出しても、またその隙間からヒョイと入って来そうなので、追い払う行為自体無駄であると判断し止めることにした。

トカゲのいる部屋に居たくないで GH 庭のベンチに座り、蚊取り線香を炊いて座っていると、GH のスタッフが『もう遅いので部屋に入れば?』と言うので『部屋にトカゲがいる』と言うと『トカゲは何にもしない。No Problem, No Problem』を繰り返すだけだった。それでも部屋に帰らないワシを見かねたのか GH のスタッフが『部屋と一緒に行って、トカゲが居るか見たるわ。』と言ってくれ、一緒に部屋中を点検してくれたが見当たらなかった。その晩はベッドの上に蚊帳があったのでそれを張って寝た。

以前『ガンジス河でバタフライ』というテレビドラマで観たことがあるが、主演の長澤まさみが寝ている時に、ヤモリが顔や身体にへばり付いていたシーンを観たことがあるが、寝ている間に身体中ウロウロされるのだけは“絶対、無理”と考えていると寝つきが悪かった。

しかし、ジャングルなんてとんでもない処へ来てしまったものだ…。今晚入れてあと2泊もある。

This story is to be continued.

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。すでにご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。寄稿頂ける方は career-up@hue.ac.jp または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

■キャリアアップ・プログラムに関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へ、ご遠慮なくご連絡ください。

731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM